

重点施策修正案

鯖江ブランドづくり

人の増えるまちづくり

「鯖江ブランド」づくり

第1節 鯖江ならではのものづくり

(1) 産業活性

眼鏡産業の表面処理やチタンの微細加工等、本市の固有の要素技術を活かした医療やウェアラブル端末*関連等の成長分野への進出を促し、地域産業のイメージアップを図ることで、若者や女性の就業につなげます。

また、企業マッチングを進めながら、販売力の強化や産学官連携による新素材・新技術・新商品の研究開発、農商工連携による新たな加工品の開発・販路の開拓などを支援し、「作るだけの産地」から、自ら開発・製品化して販売する「作って売る産地」への転換を図ります。

また、企業の誘致については、ウェアラブル端末*関連をはじめとする次代を拓くIT企業の誘致や育成にも取り組みます。

(2) 農林産品

鯖江特産の夢てまり(マルセイユメロン)、ブロッコリー、ミディトマト、さばえ菜花や鯖江の伝統野菜である吉川ナスなど、特色ある農産物の振興や森林資源を用いた林産品の創出を図るとともに、商いとして成り立つ産業としての定着化を進め、地産地消はもとより地域ブランドとして発信します。

(3) 農商工連携

農林業経営の改善や中小企業者の経営向上を目指し、1次、2次、3次の産業の壁を超えて自らが保有する経営資源を持ち寄り、それぞれの有する強みを発揮しながら、鯖江の地域資源と特色を活かした鯖江ならではの加工品づくりなど、6次産業*への転換による新たな地域ブランドの定着を図ることで、農商工連携の積極的な推進に取り組みます。



第2節 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり

(1) 後継者育成

子どもたちが、地域の産業技術力や歴史を実際に見て・聞いて・触れる機会を充実することにより、それぞれの産業の知識・理解を深め、地域産業に誇りを持つるように、将来の後継者につながる産業教育を促進します。

(2) 自然・地球環境

さくら・つつじ・もみじの西山公園、レッサーパンダの西山動物園、河和田のオシドリ、野鳥の宝庫の日野川周辺、名水の桃源・三場坂・許佐羅江清水など、豊富な自然環境を活かしたまちづくりを進めます。

また、森づくりからの環境保全を基本に、市民参加による人と生きものが共生できる自然環境の確保や、太陽光発電等の再生可能エネルギー^{*}の利用拡大、地産地消の取り組みなどを推進し、低炭素社会の構築を目指します。

さらに、エコネットさばえ拠点に市民・企業向けの多彩な環境学習・啓発活動を行うことで、ごみ排出量の減量や資源化率の向上、自らが環境に配慮して行動する人材の育成、市民協働で取り組む“まち美化”の推進などにも取り組みます。

(3) 歴史・伝統・文化

先人が遺された鯖江が誇れる歴史・伝統・文化を確かに伝承し、これらを光り輝く地域の宝としてまちづくりに活用するとともに、一人でも多くの市民が心の豊かさを実感し、地域の一員であることが自覚できるように、文化・芸術に触れることができる環境整備に努めます。



「人の増えるまち」づくり

第1節 安心して生み育てられる子育て環境の充実

(1) 安全・安心

行政と市民、地域、企業が減災・防災に関する情報を共有する「防災協働社会」を目指すとともに、引き続き、治山・治水対策の着実な推進や、防犯・防災体制の充実を図ることにより、災害に強く市民が安心して生活できるまちづくりを進めます。

(2) 子育て

子ども子育て支援事業計画に基づき、子育ての喜びが実感できる支援の充実を図り、安心して子育てのできるよう、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援に取り組みます。

また、仕事と子育てが両立でき、家族時間が伸張する環境づくりに向けて、ワーク・ライフ・バランスの啓発等の推進に取り組みます。

さらに、未婚や晩婚の解消に向けて、若者の出会いや交流の場づくりによる縁結びなど、素敵な出会いができる環境づくりを進めます。

(3) 学校・地域・家庭教育

食について自らが考える習慣を身に付け、地域で生産したものは地域で消費する精神や自然の恵みに感謝の心を育む食育を基盤に、知育・徳育・体育のバランスのとれた心身ともに健全な子どもたちの育成を図るとともに、地域産業の知識や理解を深める産業教育に取り組みます。

併せて、全ての市民が生きがいを持って暮らせるように、いつでも、どこでも、誰もが生涯を通して学べる機会や文化に親しむことができる環境を充実します。

また、地域の人の絆によって人を育む地域力や、社会の最も基本となる家庭での教育力の向上を促進します。



第2節 若者が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり

(1) 若者・学生との連携

柔軟で創造性豊かな発想と旺盛な行動力を持つ若者や学生を市政のパートナーと位置づけ、若者が主体となったまちづくり事業や大学・高専との連携事業など、若者や学生が活動しやすい環境整備を図ることで、若者の知恵と行動力を市政に活かしたまちづくりを進めます。

(2) 定住促進

眼鏡産業の表面処理やチタンの微細加工等、本市の固有の要素技術を活かした医療やウェアラブル端末*関連等の成長分野への進出を促し、地域産業のイメージアップを図ることで、若者や女性の就業につなげます。

また、市内で起業・創業した企業への支援の充実や、IT企業などの誘致を促進することにより、若者の働く場を創り、地域の原動力として次世代を担う若者の定住を促進します。

特に、河和田地区では人口が減少する中、河和田アートキャンプを経験した若者が、地元の漆器や眼鏡産業に従事し、新たな活力や賑わいの創出に向けた活動がスタートしています。彼らの活動を支援するとともに、空き家の活用など住環境の整備にも取り組み、新たな定住者の増加に取り組みます。

(3) オープンデータの活用

市民が楽しく豊かに暮らすために、ITを活用したまちづくりは大きな力となります。さらなるオープンデータに取り組み、誰もが暮らしやすいまちづくりに努めます。

第3節 健康と長寿の推進

(1) 健康長寿

市民一人ひとりが、健康的な生活習慣を身につけ健康寿命*を延ばせるように、健康増進と疾病予防を目的とする1次予防を重視した健康づくりを進めます。

また、高齢者が要支援・要介護状態にならないよう介護予防、**認知症施策の推進**に努め、自らが主体的に健康長寿に取り組み、地域で支えあう健康づくり体制を推進します。

(2) 生涯スポーツ

充実したスポーツ施設を活用し、市民一人ひとりが生涯を通じて健康で潤いのあるスポーツライフが送れるよう、市民が主体となり、いつでも、誰でも、気軽に参加できる生涯スポーツ社会の実現を図り、「スポーツで躍動感あふれる豊かな鯖江、元気鯖江」を目指します。

(3) 生涯学習

地区公民館や高年大学等で行われる各種学習活動や趣味、レクレーションなどを通して、個人が培ってきた能力を最大限に生かし、生きがいを持って健康で元気に、地域で暮らせるまちづくりを促進します。



■ 河和田アートキャンプ